

第25回全日本トライアスロン宮古島大会レポート（番外編）

棚澤 信

4/17

雨と逆風で飛行機が遅れ、那覇空港の乗り継ぎはばたばただった。昼食を摂り損ね、補給食でつなごうと荷物を探るが、忘れてきたことに気づく。宮古島も雨だった。空港からホテルへ、タクシーに待っててもらい、荷物を置いて会場へ。受付はスムーズ。雨のせいか、売店のテントも賑わっていない。外は寒いくらいだったので、早々に説明会会場に。ヘルメットのゼッケンシールの位置で盛り上がりってしまう。パーティーは例年通り。25周年のせいかお預けが長い。あちこちでフライングが始まっている。ナイスな選手宣誓で場が和んだ。トライアスロンの描かれたケーキも一瞬で崩れ、食べ物も無くなる。少し出遅れて、プレーンのスパゲッティーや紅芋餡のパイであるストロングマンで空腹を満たす。会場で流れた過去の映像を見て、バスで東急へ。泊まっている隣のマレアまでは真っ暗な道を歩く。思わぬいいこともあり、何度も蛍を見ることができた。

4/18

相部屋の大先輩、Sさん、Hさんのお二人は、最近プロのトライアスリートになられて、スポンサーは国とのこと。しかし、ウェアに厚生労働省とか社会保険庁と書いてあるわけではない。

夜も早い。夜中に何度もお目覚めのご様子。物音にも負けずに寝ていると、いつまでも寝ていると起こされる。7時半のオープンを待って、一番で朝食。バイクを組み立てて、軽く試走。昨日とは一転、いい天気。日差しが痛いくらいだ。去年のメニューをトレースして、午前中に徒歩でスイム会場へ行き試泳。最初のコーナーまで往復の試泳。ゴーグルが曇って、対策が必要である。その間、Sプロはシュノーケリングに備えて新たに入手してきたカメラのテスト。モデルはもちろんHプロ。



昼食は、来間島の橋の手前でしょうが丼。肉野菜のしょうが焼きがご飯に乗っていて、ボリューム十分。来間島を観光、コンビニで補給食を調達して4時ごろにバイクのチェックイン。夕食前に明日の準備。ベテランのSプロは、トランジッションのシミュレーションと準備に怠りが無い。ウェアの着替え易さをチェックしている。飽きないようにと補給食のバリエーションも多彩。ところが、次々とトランジッションバックをひっくり返して

ゼッケンが無いと大騒ぎ。隠しているんじゃないかと、我々に疑いの目を向ける。この後はまさかの古典的なギャグの展開で、シャツを持ち上げるとしっかりゼッケンベルトが巻かれていた。Hプロも負けていない。無くしてあちこち探していたIDカードは大事な物をまとめて入れておくと宣言していたポーチから発見された。体力的には若々しいお二人だが、ちょくちょく笑いのネタを提供してくれる。お二人は、チタンのテープをひざに腰にと入念だ。いつも使っているというHプロが貼りながらひとこと、「こんなもん、本当に効果があるんだろうか」、それに答えてSプロは「信じるものは救われる」。霊験あらたかな攀らない薬も、本当に効くのだろうか？

どうせ眠れないと思いながら8時過ぎには寝に入るが、やはりそう簡単に眠れるものではない。

4/19

時計のアラームで起床。お二人は高いびきで起きる気配が無い。まだ、早いのかなと時間を見ると起床予定の3時半を回っている。早起きのはずの先輩方は当てにはならなかった。真っ暗な道を徒歩で会場へ。あせることも無く、余裕も無い準備時間。7時にレーススタート。

ゴールして、ボディーケアを受けて会場に戻ると、すでにお二人ともゴールされたあと。ハートビューのみなさんも、そろって無事に？完走。東急まで送迎バス。そこからタクシー。目的地は、タクシー待機場所の少し先である。ゴール後、しばらく経っても足が攀る脱水症状だったが、会場で大量給水した効果かビールも普通に飲める。

4/20

バイクを受け取って、スタジアムのごみ拾い。ほとんど終わっていて、所属不明の感じで記念写真に納まる。ホテルに帰ってバイクをばらして梱包。昼食にそばを食べ、会場に。写真を見たり、結果を受け取ったり。表彰式のパーティーに参加。帰る人も多く、途中から人がまばらになるが、最後まで飲んで踊る。去年同様の、民宿主催ガーデンパーティーに参加。地元の方々から、オトーリを習う。オトーリ用は、泡盛を水で割って一升瓶に入れるんですね。宮古島の第4種目はオトーリ、第5種目はクイチャーである。Nさんは激しく踊りすぎて、ぶれていない写真が残っていない。Hプロは、いすで眠ってしまっている。筋肉痛にも負けず、3人を連れて(?)無事にホテル帰りついた。残されたSプロの荷物にまでは気持ちが及ばなかった。



4/21

去年同様、朝から雨だがシュノーケリングに。南側の海岸もきれいだ。泳ぎ始めは、やっぱり不得手である。入念にテストされたSプロのカメラも大活躍で、レポートのスナップ写真にはもったいないほどよく撮れている。予定の宮古島温泉は早すぎてオープン前。ホテルに戻って風呂に入り、空港へ。ビールと昼食。那覇で弁当を買って羽田へ。羽田で独りになったが、京浜急行はラッシュの時間帯で大荷物で大変だった。横浜も雨で、帰り道に四食目。

愉快的な同行者の方々のおかげで珍道中、レース以外も非日常の宮古島ツアーを楽しむことができました。

